

# 学校評価結果（平成29年度）

## I 自己評価

### 1. 本園の教育目標

発達に応じた楽しいあそびの中で、知・体・徳のバランスのとれた教育を展開し心身ともに元気で明るい、のびのびした子どもを育てることを目指す。

- ・心身ともに元気に明るい子どもを育てる。
- ・自ら進んで新しい発見をし、喜びを持ち工夫する子どもを育てる。
- ・自分や他人を大切にし、みんなと仲良く協力できる子どもを育てる。
- ・規則正しい生活ができ、自ら安全な行動のできる子どもを育てる。

### 2. 本年度の重点的に取り組む目標、計画

子どもに様々な体験を通し人間としての基礎の部分の成長を促す  
職員間での情報の共有化の密度を高め、子どもの共通理解を深める  
地域の子育ての支援を積極的に行う

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

年間の指導計画並びに保育内容	年度の開始時に年間の保育目標及び指導計画についてしっかりと吟味し、子どもの適切な成長を図れるよう工夫し、指導計画に基づいて保育を行うことが出来た。
子どもへの職員の共通理解	子どもの様子の些細な変化に気付けるように心がけ、子どもの成長をしっかりと捉えることが出来た。またクラス間、学年間でも報告を積極的に行うようにし、子どもの共通理解を深めることが出来た。
教育者としての資質の向上を図る	日々保育の様子を話し合い、自らの保育を省み客観的に捉えられるように努め、また研修にも積極的に参加し保育の質の向上及び教育者としての資質の向上に努めた。
地域の子育てセンターとしての活動	日々、幼稚園として保護者の相談にあたりるとともに新たに親子未就園児教室を開催し、地域の子育ての貢献に努めた。 またホームページをリニューアルしブログを開設し幼稚園の情報発信を積極的に行った。

安全面や施設面での取り組み	日々設備や施設の点検を実施し、都度改善を行った。また交通安全指導や避難訓練を行い災害時の対応への意識の向上を図った。
---------------	--

#### 4. 学校自己評価の総合的な評価結果

職員全体で当園の教育目標を再確認し、保育に当たることにより、当初の目標である子どもに様々な体験を通し人間としての基礎の部分の成長を促す保育を行うことが出来た。

また未就園児への新たな活動を設け、地域の子育て支援センターとしての活動を充実させることが出来た。

#### 5. 今後の課題

周りの新制度への移行の状態を見極めつつ当園の特色である丁寧な保育子どもの個々の成長に即した保育をより充実させ、幼稚園の価値を高めることに努め、地域に根差した幼稚園になれるよう研鑽に励む。

## II 学校関係者評価

幼稚園関係者の方々には主に行事を通して日頃の保育の成果を見て頂き適正に運営されているとともに、29年度の自己評価についても適正であると認められた。  
今後も子どもたちの健全な成長のためにより一層頑張っしてほしいとの言葉を頂きました。